

抗血栓薬など

薬効	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
抗血小板薬	アスピリン	バイアスピリン錠	7～14日 ^{1),2),3),9)}
	アスピリン・ダイアルミネート配合剤	バファリン配合錠A81	
	アスピリン・ランソプラゾール配合剤	タケルダ配合錠	
	アスピリン・クロピドグレル配合剤	コンプラビン配合錠	
	アスピリン・ボノプラザン配合剤	キャブピリン配合錠	
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン錠	7～14日 ^{3),4),7),9)}
	クロピドグレル硫酸塩	プラビックス錠	5～14日 ^{1),2),3),7),9)}
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント錠	7～14日以上 ^{1),2),3),7),9)}
	チカグレロル	ブリリント錠	3～5日 ^{1),2),5),7)}
	シロスタゾール	プレタールOD錠	3日 ^{3),5),6)}
	イコサペント酸エチル	エパデールS	7～10日 ^{3),5),6)}
	ベラプロストナトリウム	ドルナー錠	1～2日 ^{3),4),8)}
	サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ錠	
抗凝固薬	ワルファリンカリウム	ワーファリン錠	3～5日 ^{1),2),3)}
	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	プラザキサカプセル	24時間～96時間以上 ²⁾ (腎機能・出血リスクにより変動あり※別表)
	アピキサバン	エリキュース錠	12～48時間以上 ²⁾ (腎機能・出血リスクにより変動あり※別表)
	エドキサバントシル酸塩	リクシアナOD錠	
	リバーロキサバン	イグザレルトOD錠	
リバーロキサバン	イグザレルト錠2.5mg	12時間以上 ^{2),7)}	
* 適応: 下肢血行再建術施行後の末梢動脈疾患患者における血栓・塞栓形成の抑制の場合			
* ダビガトラン、アピキサバン、エドキサバン、リバーロキサバンは、 日本循環器学会ガイドラインで推奨される最終服用タイミングを表記			
血管拡張薬	リマプロストアルファデクス	オパールモン錠	1日 ^{3),5),6)}
冠血管 拡張薬	トラピジル	ロコルナール錠	2日 ^{3),8)}
	ジラゼブ塩酸塩	コメリアンコーワ錠	
	ジピリダモール	ペルサンチン錠	1～2日 ^{3),4),5),6)}
脳循環・ 代謝改善薬	イブジラスト	ケタスカプセル	3日 ^{3),5),6),8)}
	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール錠	1～2日 ^{3),5),6),8)}
	ニセルゴリン	サアミオン錠	2日 ^{3),5),6),8)}
高脂血症 治療薬	ω-3脂肪酸エチル	ロトリガ粒状カプセル	7～10日 ⁸⁾
骨粗鬆症 治療薬	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ錠	3日 ^{3),7)}
	バゼドキシフェン酢酸塩	ビビアント錠	

別表) 待機的手術における抗凝固薬の術前の休薬時期と術後の再開時期²⁾

A. 出血低リスク手技

	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	手術日 (術後)	1日後	2日後	3日後
DOAC	○	○	○	○	△ (≥12時間)	△ 術後 6~8 時間以降	○	○	○

B. 出血中リスク手技

			5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	手術日 (術後)	1日後	2日後	3日後
ダビガトラン	CCr ≥ 80	mL/分	○	○	○	○	△ (≥24時間)	△ 術後 6~8 時間以降	○	○	○
	CCr 50 ~ 79	mL/分	○	○	○	△ (≥36時間)	×		○	○	○
	CCr 30 ~ 49	mL/分	○	○	○	△ (≥48時間)	×		○	○	○
リバーロキサバン アピキサバン エドキサバン	CCr ≥ 30	mL/分	○	○	○	○	△ (≥24時間)		○	○	○
	CCr 15 ~ 29	mL/分	○	○	○	△ (≥36時間)	×	○	○	○	

C. 出血高リスク手技

			5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	手術日 (術後)	1日後	2日後	3日後
ダビガトラン	CCr ≥ 80	mL/分	○	○	○	△ (≥48時間)	×	△ 術後の出血の状況に応じ て、可能な限り早期 (術後 6~8 時間以降)		△ 術後出血が問題とな る場合は 48~72 時間以降を考慮	
	CCr 50 ~ 79	mL/分	○	○	△ (≥72時間)	×	×				
	CCr 30 ~ 49	mL/分	○	△ (≥96時間)	×	×	×				
リバーロキサバン、アピキサバン、エドキサバン			○	○	○	△ (≥48時間)	×				

○:服用
 △:手術の施行時間や患者の病状等もふまえ内服の可否を決定。術前のカッコ内は推奨される最終服用タイミングを表す
 ×:休薬

術後、抗凝固薬の再開の目安を記載したが、実際の再開タイミングは外科医、麻酔科医(区域麻酔時)とのコンセンサスが重要
 術後の出血が問題となる場合には、術後の血栓塞栓症予防と容易な出血の管理を目的としてヘパリン投与が考慮される可能性はある

降圧剤など

薬効	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
ACE阻害薬	カプトプリル	カプトリル錠	手術前24時間は 投与しないことが 望ましい ⁷⁾
	エナラプリルマレイン酸塩	レニベース錠	
	アラセプリル	セタプリル錠	
	デラプリル塩酸塩	アデカット錠	
	リシノプリル水和物	ロンゲス錠	
	ベナゼプリル塩酸塩	チバセン錠	
	イミダプリル塩酸塩	タナトリル錠	
	テモカプリル塩酸塩	エースコール錠	
	トランドラプリル	オドリック錠 プレラン錠	
	ペリンドプリルエルブミン	コバシル錠	
ARB (A II 受容体拮抗薬)および配合剤	ロサルタンカリウム	ニューロタン錠 プレミネント配合錠	手術前24時間は 投与しないことが 望ましい ⁷⁾
	カンデサルタンシレキセチル	ブロプレス錠 ユニシア配合錠 エカード配合錠	
	バルサルタン	ディオバン錠 エックスフォージ配合錠 アテディオ配合錠 コディオ配合錠	
	テルミサルタン	ミカルディス錠 ミカムロ配合錠 ミコンビ配合錠 ミカトリオ配合錠	
	オルメサルタンメドキシミル	オルメテック錠 レザルタス配合錠	
	イルベサルタン	イルベタン錠 アバプロ錠 イルトラ配合錠 アイミクス配合錠	
	アジルサルタン	アジルバ錠 ザクラス配合錠	
ARNI	サクビトリルバルサルタン	エンレスト錠	手術前24時間は 投与しないことが 望ましい ⁷⁾

糖尿病薬

薬効	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
ビグアナイド類 および配合剤	メトホルミン塩酸塩	メトグルコ錠 グリコラン錠 メタクト配合錠 イニシンク配合錠 メアナ配合錠 エクメット配合錠	手術前48時間は 投与しないことが 望ましい (ヨード造影剤使用 前の休薬は不 要) ^{5),7),13),14)}
	ブホルミン塩酸塩	ジベトス錠 ジベトンS腸溶錠	

糖尿病薬(SGLT2阻害剤)

薬効(適応症)	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
糖尿病 心不全 腎臓病	ダパグリフロジンプロピレングリコール水 和物	フォシーガ錠	3日間 ^{*10),11),12)}
	エンパグリフロジン	ジャディアンス錠	
糖尿病 糖尿病を合併する 腎臓病	カナグリフロジン水和物	カナグル錠	3日間 ^{10),11)}
糖尿病	イプラグリフロジンL-プロリン	スーグラ錠	3日間 ¹⁰⁾
	トホグリフロジン水和物	デベルザ錠	
	ルセオグリフロジン水和物	ルセフィ錠 ルセフィODフィルム	
	テネリグリプチン臭化水素酸塩水和 物・カナグリフロジン水和物	カナリア配合錠	
	シタグリプチンリン酸塩水和物/イプラ グリフロジンL-プロリン	スージャヌ配合錠	
	エンパグリフロジン/リナグリプチン	トラディアンス配合錠	

*2型糖尿病を合併しない心不全患者は、術前の終日絶食日(基本は手術日)は休薬

アルコール依存症治療薬

薬効	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
アルコール依存症 治療薬	ナルメフェン塩酸塩水和物	セリンクロ錠	オピオイド系薬剤を 投与することが事前 にわかる場合には、 少なくとも1週間前 に本剤の投与を中 断する ⁷⁾

女性ホルモン関連薬

薬効	一般名	代表薬剤名	当院における 休薬期間
女性 ホルモン薬	エチニルエストラジオール・ドロスピレノン	ヤーズ配合錠 ヤーズフレックス配合錠	4週間 （【禁忌】欄に記載 あり） ^{3),7)}
	エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	ルナベル配合錠LD ルナベル配合錠ULD シンフェーズT28錠 フリウエル配合錠LD フリウエル配合錠ULD	
	レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール	アンジュ21 28 ラベルフィーユ21 28 ジェミーナ配合錠 トリキュラー錠21 28	
	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	マーベロン21 28 ファボワール錠21 28	
	結合型エストロゲン	プレマリン錠	4週間 （【特定の背景を 有する患者に 関する注意】欄に 記載あり） ⁷⁾
	エストリオール	エストリール錠 ホーリン錠	【特定の背景を 有する患者に 関する注意】欄に 記載あり ⁷⁾
	エストラジオール・レボノルゲストレル	ウェルナラ配合錠 ジュリナ錠	
	17β-エストラジオール	エストラーナテープ ディビゲル	
		ル・エストロジェル	
	エストラジオール・ノルエチステロン	メノエイドコンビパッチ	

プラノバル錠: 添付文書の「重要な基本的注意」に以下の記載あり。「本剤服用中にやむを得ず手術が必要と判断される場合には、血栓症の予防に十分配慮すること」

(参考文献)

- 1) JCSガイドライン フォーカスアップデート版 冠動脈疾患患者における抗血栓療法(2020年)
- 2) 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(2022年改訂版)
- 3) 周術期管理チームテキスト 第4版(2020年12月発行)
- 4) 麻酔科医のための周術期の薬物使用法 初版(2015年5月15日発行)
- 5) 薬局2017 Vol.68 No.12
- 6) 月刊薬事 Vol.57 No.1
- 7) 添付文書、インタビューフォーム、適正使用ガイド
- 8) メーカーに確認
- 9) 抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン(2016年)
- 10) 糖尿病治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation
- 11) CKD治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation
- 12) 心不全治療における SGLT2 阻害薬の適正使用に関する Recommendation
- 13) メトホルミンの適正使用に関するRecommendation(2020年3月18日改定)
- 14) 腎障害患者におけるヨード造影剤使用に関するガイドライン2018